「ゆうゆう住宅」

20160501 第1版

設計内容確認シート 木造住宅用(戸建) 沖縄県はR C造を含む

全国建設労働組合総連合

申込日	年	月	

-	このシート作成者に「〇」をつけてください:申込担当者・設計者・その他(氏名:											
物件概要	事業者届出番号					-			届出事業者名			
	申込担当者名	所属			氏名					連絡先		
	現場所在地 (地名・地番)	∓		都·道 府·県								
	住宅取得者 (予定)											

届出事業者(設計者等含む)確認欄								
確認項目			確認事項	確認資料等(要提出)				
地盤	□地盤調査	査を実施してし 質を実施してし 関査チェックシ	Nる。 Nない(現地調査チェックシートで B に該当する項目が一つもない)。 Vートは2階建て以下の戸建木造住宅における使用に限る。	□地盤調査報告書 □現地調査チェックシート				
	□地盤調査 調査方法	□地盤調查報告書 □地盤補強工事計画 報告書 □地形図						
地盤調査 ・補強 □ □該当なし	□3点以		(建物の4隅付近を含む)で実施している。 施工時に支持地盤が確認できる根拠」又は「均質な地盤であると判断した根拠」を	□基礎伏図 □杭仕様書 □その他 ()				
	地盤補強の □地盤補強 □地盤補強	□地盤調査報告書の考察 □その他の考察 □基礎設計のための チェックシート □その他()						
			□基礎の立上り部分高さは、地上部分で 400 mm 以上である。 基礎高300mm以上の場合は「包括3条確認」の内容に基づき設計・施工することを承知済み。	□矩計図 □その他()				
基礎	□べた基礎	Ż	□配筋は、次のいずれかを根拠としたものである。 □住宅保証機構のべた基礎配筋表 □構造計算 □その他の工学的判断 ()	□基礎伏図 □その他の配筋表 □工学的判断根拠 □その他()				
	□布基礎	·	□基礎の立上り部分高さは、地上部分で 4nn mm 以上である。 基礎高300mm以上の場合は「包括3条確認」の内容に基づき設計・施工することを承知済み。	□矩計図 □その他()				
勾配屋根※ □該当なし	□勾配屋相□下ぶきね	□立面図 □矩計図						
天窓 □該当なし	□天窓メー*メーカーの	- 力一の仕様書 の仕様書は、現場	『による施工である。メーカー名(『検査時にご提示ください。					
	防水材の	陸屋根	□金属板 (鍋版) 葺き □塩ビ系シート防水 □アスファルト防水 □改質アスファルト防水 □その他 ()	□矩計図 □その他()				
陸屋根※	種別 	バルコニー	□金属板(鍋版)葺き □塩ビ系シート防水 □アスファルト防水 □改質アスファルト防水 □ FRP 防水(2 ブライ) □その他()	□矩計図 □その他 ()				
□該当なし 及び	屋根・床の	D勾配	□屋根・床の排水勾配は、1 / 50 以上である。 □防水材製造者の施工基準によっている。	□矩計図 □立面図 □防水製造者仕様書等				
バルコニー □該当なし	手摺 及て		□笠木の固定金具等を取付けるための釘・ビス等が防水紙を貫通する部分には、防水テープやシーリングなどの止水措置を施している。					
	パラペット(手摺等)		□外壁を通気構法としている場合は、手摺等において外壁の通気を妨げない形状である。 □外壁は通気構法でない(外壁:湿式仕上 or ALC パネル等を使用の場合のみ)。					
	防水層の立	江上り高さ	□手摺等と屋根・床面の取合い部分の防水層は、開口部の下端で 120mm 以上、それ以外の部分で 250mm 以上立上げている。	□矩計図 □その他()				
外壁	□湿式仕」	ニげ	□防水紙は、JIS A 6005 に適合するアスファルトフェルト 430(20kg /巻相当品) 又は同等品である。 □通気構法とし、防水紙は、JIS A 6111 に適合する透湿防水シート又は同等品である。	□矩計図 □その他()				
か等	□乾式仕上げ		□通気構法とし、防水紙は、JIS A 6111 に適合する透湿防水シート又は同等品である。 □ ALC パネル又は押出し成形セメント板等を用い基準 9 条 3 項の仕上塗材を用い ている。	□矩計図 □その他()				

^{※:}原則として、屋根面の水下側にパラペット又は内樋がある場合は「陸屋根」、ない場合は「勾配屋根」として取り扱います。 (注) 3条確認(適用除外)工法・仕様を用いる場合は、該当する項目名を〇で囲み、余白にその旨をご記入ください。